

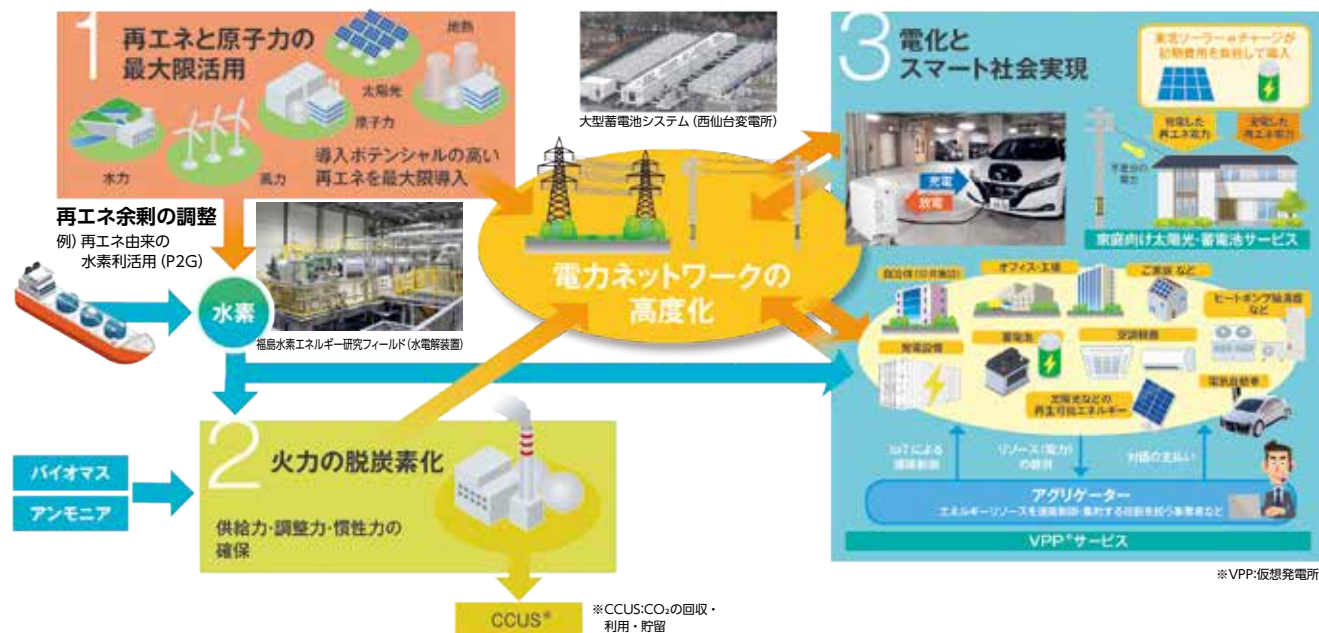
Topics① 東北電力グループ“カーボンニュートラルチャレンジ2050”について

東北電力グループは、カーボンニュートラルの実現に向けた長期的な方向性として「東北電力グループ“カーボンニュートラルチャレンジ2050”」を取りまとめました。

2050年カーボンニュートラル宣言

- 東北電力グループは、S+3E*の確保を大前提に、2050年カーボンニュートラルに挑戦します。
 ※Safety(安全性)を前提に、Environment(環境性)、Economy(経済性)、Energy security(安定供給)の同時達成
- 東北電力グループのCO₂排出削減を加速するとともに、スマート社会の実現を通じて東北・新潟地域をはじめとしたお客さまのCO₂排出削減にも取り組み、地域社会の脱炭素化に貢献してまいります。

カーボンニュートラル実現に向けて目指す姿



世界最大級の水素製造施設「福島水素エネルギー研究フィールド (FH2R)」

当社グループは、再生可能エネルギーを利用した「福島水素エネルギー研究フィールド (FH2R)」*の実証事業に参画しております。(期間2016年度～2022年度)

本施設では、電力システムに対する需給調整を行うことで、蓄電池を使わずに出力変動の大きい再生可能エネルギーの電力を最大限利用するとともに、クリーンで低コストな水素製造技術の確立を目指します。

こうした実証事業への参画などを通じて、再生可能エネルギーの導入拡大と電力システムの安定運用の両立に向けた技術開発に取り組んでまいります。

※国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)の技術実証事業として受託



福島水素エネルギー研究フィールド

Topics② 創立70周年記念事業について

当社は創立70周年を記念して、以下の事業を実施しております。

- 1. オープンイノベーションプログラム「TOHOKU EPCO BUSINESS BUILD」**
 「スマート社会」の実現に向けた取り組みを加速するため、事業アイデアを募集し、パートナーとの連携・共創を通じて、新規ビジネスや新サービスの創出をはかります。
- 2. 東北・新潟の活性化応援プログラム**
 地域産業の振興、地域コミュニティの再生・活性化など、地域の課題解決に向けて自主的な活動を行っている団体を助成金によりサポートします。(本プログラムは2017年より毎年実施しており、今年は「70周年記念助成金」を設定。)
- 3. お客さまご愛顧感謝キャンペーン**
 対象料金プランへのご加入で3ヶ月分の基本料金が無料になるキャンペーンを今年7月31日まで実施しております。(キャンペーンの内容は裏表紙をご覧ください。)



©eicon company

Topics③ スマート社会実現事業への挑戦

当社グループは社会課題の解決により、地域に住む方々が快適・安全・安心な暮らしに貢献する「スマート社会実現事業」に取り組んでおります。ここでは主な取り組みについてご紹介します。

「スマート社会実現事業」に向けた新会社の設立

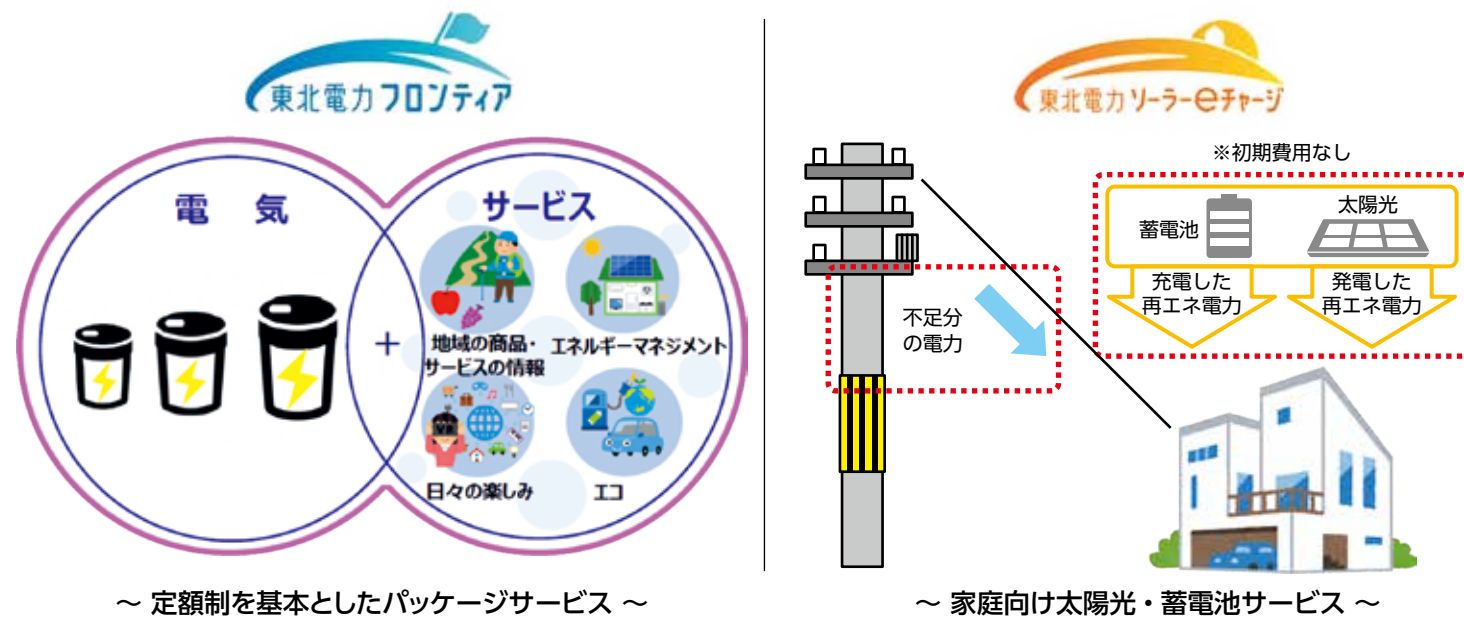
お客さま起点の新たなサービスを創出していくため、今年4月に「スマート社会実現事業」の中核的な役割を担う「東北電力フロンティア株式会社」を設立いたしました。

次世代のデジタル技術やイノベーションの活用等を通じて、電気機器の制御による省エネや蓄エネなど、電気を含むエネルギーマネジメントをベースとしながら、お客さまの、快適・安全・安心な暮らしにつながる各種サービスを取り揃え、これらを組み合わせでご提供してまいります。

一例として、同じく新たに設立した「東北電力ソーラーeチャージ株式会社」が提供する太陽光発電設備と蓄電池の設置サービス(分散型電源)と、それだけでは賄いきれない電力(系統電気)をパッケージにして提供する予定です。

| | 東北電力フロンティア | 東北電力ソーラーeチャージ |
|-------|------------|---------------|
| 設立日 | 2021年4月1日 | 2021年4月1日 |
| 取締役社長 | 岡信 慎一 | 伊藤 篤 |
| 設立時資本 | 50億円 | 9.9億円 |
| | ・資本金25億円 | ・資本金4.95億円 |
| | ・資本準備金25億円 | ・資本準備金4.95億円 |
| 事業開始 | 2021年度下期予定 | 2021年度上期予定 |

〈提供するサービスのイメージ〉



Topics④ 原子力発電所の再稼働に向けた取り組み

原子力発電については、新規基準への適合にとどまらず、より高いレベルでの安全確保に向けて、さらなる安全性の向上に取り組んでまいりました。

女川原子力発電所2号機については、昨年2月、原子力規制委員会から原子炉設置変更許可を受けるとともに、安全協定に基づく事前協議の申し入れに対し、昨年11月、宮城県、女川町、石巻市よりご了解をいただきました。現在、工事計画認可申請に係る審査が進められており、2022年度の安全対策工事完了に向け取り組んでまいります。

東通原子力発電所1号機については、地震・津波に係る審査が進められており、安全対策工事については、2024年度の完了を目指して進めていくことといたしました。

引き続き、原子力発電所の再稼働に向けて、地域のみなさまに理解を深めていただけるよう取り組んでまいります。



安全対策工事が進む女川原子力発電所



電源確保訓練(東通原子力発電所)